



ブリ

主な漁業と漁期

定置網: 周年

釣: 周年

生態

日本各地に分布し、多くは沿岸域の水深30～100m層を泳ぎながら北海道～鹿児島県まで広く回遊します。一方、南部海域にはあまり移動せず瀬に定着する瀬付きの魚群も生息しています。若齢魚は比較的狭い範囲を回遊しますが、高齢になるほど広がります。

●産卵場・産卵期

東シナ海の陸棚縁辺部を中心として、九州～能登半島周辺以西および伊豆諸島以西の沿岸域で1～7月に産卵が行われます。

●食性

肉食性で尾又長8cmまでは動物プランクトン(甲殻類)を主に捕食しますが、その後は魚食性が強くなり、尾又長13cm程度でほぼ完全な魚食性となります。成魚ではイワシ類、アジ類、イカ類、タイ類などを捕食します。

●成長・成熟

寿命は7歳程度です。流れ藻について生活する稚魚をもじやこ、体重0.5kg未滿をわかし、0.5～2.0kg未滿をいなだ、2.0～6.0kg未滿をわらさ、6kg以上をぶりと、魚体により呼称(銘柄)が変わります。3歳魚(わらさ～ぶり)では一部が、4歳以上(ぶり)で全てが成熟します。

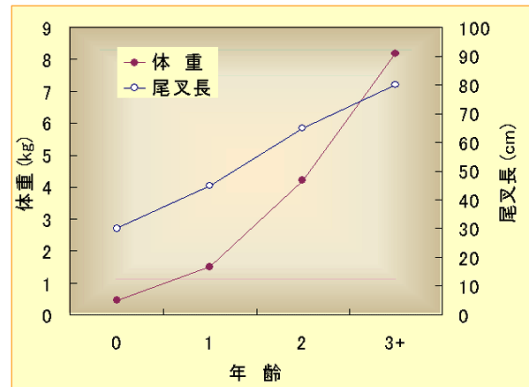
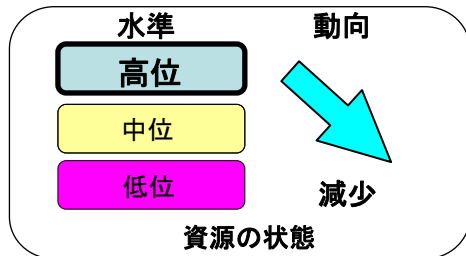


図 年齢と成長 ((国研)水産研究・教育機構資料)

漁業・資源動向

【資源】



- 1 全国のブリ(類)の漁獲量は2018年は10.0万トンと高水準で推移しています。
- 2 2018年の資源量は24.6万トンで、資源水準は高位、動向は減少と評価されています。親魚量も増加傾向にありますが、再生産成功率(加入量/産卵親魚量)は減少傾向であり、注意が必要です。
- 3 漁獲物の年齢組成は0,1歳魚を中心とする未成年に大きく偏っていることから、未成年に対する漁獲圧を下げる管理が望ましいと考えられています。

国の資源評価へのリンクはこちら
ダイジェスト版

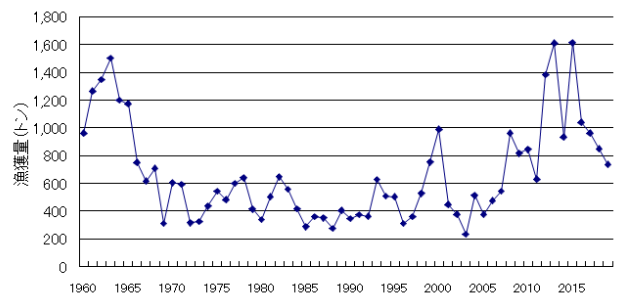
http://abchan.job.affrc.go.jp/digests2019/html/2019_42.html

詳細版

<http://abchan.job.affrc.go.jp/digests2019/details/201942.pdf>

【漁業】

- 1 静岡県では主に定置網や釣りで漁獲されており、特に春(2～4月)に伊豆半島東岸で、ぶり、わらさが多く水揚げされます。
- 2 県内の漁獲量は、1963年以降、低調に推移していましたが、2003年以降増加に転じ、近年では1,000トン前後で推移しています。
- 3 伊豆半島東岸大型定置における、2015年のぶり銘柄の漁獲量は548トン、漁獲尾数は76万尾と、1962年以降の豊漁となり、2016年以降も平年を上回る漁獲が続いています。



静岡県のブリ類水揚げ量の推移

担当者の一言: ほどよく脂の乗った春のぶりを刺身や塩焼きで御堪能下さい。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場 0558-22-0835